

品質試験報告書

試験番号

2025 年 9 月 1 日

殿

ご提出の試料に対する試験結果は下記の通りです

BOKEN

一般財団法人 ボーケン品質評価機構

広州試験センター

SGS-CSTC Standards Technical Services Co., Ltd. Guangzhou Branch

広州市経済技術開発区科学城科珠路198号2楼

TEL 86-(0)757-2280-5676

品 名：アルミ椅子 ネリオ

品 番：-

〔試験項目〕

1. 座面の静的強度試験
2. 背もたれの静的強度試験
3. 座面の耐久性試験
4. 背もたれの耐久性試験

〔提出試料〕



処	発 行	発 行
理	担当者	責任者

本試験結果はご提出の試料に対するものであって、荷口を代表するものではありません。
本報告書の全部または一部の無断転載・転用は固くお断りします。
公印の無い報告書は正式なものではありません。

品質試験報告書

試験番号

2025 年 9 月 1 日

試験項目		試験方法／判定基準	試験結果
1	座面の 静的強度試験	JIS S 1203:1998 7.1(区分3) 負荷位置決めジグによって決まる座面負荷位置及び座の前縁から100mmの位置に当て板を介し、1300Nの力を10秒間10回加える。 各部に破損、緩み、機能に影響する変形等の異常がないこと。	座面負荷位置 ：異常認めず。 座の前縁から100mmの位置 ：異常認めず。
2	背もたれの 静的強度試験	JIS S 1203:1998 7.2(区分3) 後方の脚にスッパを当て、負荷位置決めジグによって決まる座面負荷位置に1300Nの垂直力を加える。負荷位置決めジグによって決まる背もたれ負荷位置、または背もたれ最上部から100mm下の位置のどちらか低いほうに当て板を介し、560Nの垂直力を10秒間10回加える。 各部に破損、緩み、機能に影響する変形等の異常がないこと。	異常認めず。 負荷位置 ： 負荷位置決めジグ位置 背もたれの相対的たわみ 1回目 ： 0.03 10回目 ： 0.04
3	座面の 耐久性試験	JIS S 1203:1998 7.5(区分3) 負荷位置決めジグによって決まる座面負荷位置に座面当て板を介し、950Nの力を毎分40回以上を超えない速さで、50000回繰り返し。試験の初回及び最終回の当て板の最も低い位置の差(試験中の座面のたわみ)も記録する。 各部に破損、緩み、機能に影響する変形等の異常がないこと。	※座面の耐久性試験と背もたれの耐久性試験を同時に実施。 異常認めず。
4	背部の 耐久性試験	JIS S 1203:1998 7.6(区分3) 後方の脚にスッパを当て、負荷位置決めジグによって決まる座面負荷位置に950Nの垂直力を加える。負荷位置決めジグによって決まる背もたれ負荷位置、または背もたれ最上部から100mm下の位置のどちらか低い位置に、背もたれ当て板を介し、330Nの力を毎分40回以上を超えない速さで50000回繰り返し。 各部に破損、緩み、機能に影響する変形等の異常がないこと。	座面の耐久性試験 試験中の座面のたわみ : 1mm 背もたれの耐久性試験 負荷位置 : 負荷位置決めジグ位置

特記事項

- ・ 上記試験は依頼者指定による。